



校報

水糸者

No. 1293

元年度・第152号

2月も活き活き過ごす種小っ子

この時期の慌ただしさは、1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」とも呼ばれます。そのとおりに1月があっという間に「行き」、「逃げる」2月に入っています。

そんな2月もあらゆるところで子ども達の育ちを感じる姿をたくさん目にし、うれしく感じています。1学期の「耕し」、2学期の「根っこと幹」を経て、3学期の「開花」につながっている子どもの姿は、大きく輝いて見えてきます。



関わり合いながら、学び合う子ども達。「関わり」は本校のめざす授業像「得意な子が満足し、苦手な子がわかる授業」の基盤となる事の1つです。友と関わる事で、知らなかった事に気づいたり、できなかった事ができるようになってきます。そうすると、子ども達はますます活き活きと学びます。



わかるまで
できるまで
しっかり学ぶ
種小っ子



黙々と学ぶ姿、一心不乱に学ぶ姿は、「耕し」をしっかり行い「根っこと幹」が出来上がった子どもの姿です。やる事が分かれば、学ぶ楽しさが分かれば、子どもは黙々と、一心不乱に学び始めます。



ことばの教室では、宿戸小学校の小豆嶋先生と、LD等通級指導教室では、本校の山下指導教諭と楽しくじっくりと学んでいます。はまなす1組は今日も歩行訓練に励んでいました。個に応じた『支援教育』もフル回転です。

絆と学ぶ意欲が深まりました

中学校進学説明会、角浜小・宿戸小との交流会

3日(月)に、種市中学校を会場に「中学説明会」と角浜小学校、宿戸小学校の6年生と共に「中学校進学に向けての交流会」を行いました。昨年度までは「中学説明会」と「交流会」は別日にそれぞれ開催して来ましたが、今年度は種市中学校さんのご厚意もあり、一緒に開催するものです。



中学生の学習を参観する子ども達



これは、中学校進学に向けての意欲を高め、不安を少しでも取り除くことなどを主な目的として行うもので、今回の交流会では、種市中学校の谷藤 渚先生と松川先生、外国語指導助手のジャネット先生が6年生に英語の授業を行いました。3校の子ども達は互いに自己紹介をすることを通し、笑顔になって行きました。

中学校1,2年生による、歓迎の合唱の披露もありました。学習参観だけでなく、本校と角浜小学校、宿戸小学校3校の交流会、「先輩の合唱による歓迎」で、子ども達の不安もしっかり解消されたようで、2か月後の入学が楽しみとなった良い時間となったようです。



種市中学校の谷藤先生からは「英語は、勉強ができる、できないに関係なく、みんなが上達する教科です。安心してください。間違いを恐れずに、間違いを楽しんでください。」と、お話をいただきました。中学進学に向けて多少なりとも不安や心配があった子ども達にとって、このメッセージはどれだけ力強く、安心できたものとなったことでしょうか。

間もなく、クラスメートとなる角浜小学校、宿戸小学校の子ども達との交流と、種市中学校の谷藤先生との英語学習で、中学校生活への夢と希望が一気に高まった有意義な時間ともなりました。



みんないきいき 1月の種小っ子

~わからん時は教えっこ・うれしい時ははしゃぎっこ・困った時は助けっこ~



児童会室では28日開催予定の「6年生を送る会」実行委員会が行われていました。1年生の代表も参加し、しっかりと発言できていました。



しっかりとそうじを行えることも、種小っ子の良い伝統です。流しの排水溝まで、しっかりと磨き上げていました。